

葉

秋あきになり

葉はが落おちる木きは

落らく葉よう樹じゅ



1

起

さあ起おきろ

起き床しょうの時間じかんだ

もう七しち時じ



2

速

速はやい速そく度どで

車くるまが走はしる

高こう速そく道どう路ろ



3

面

鬼おにの面めん

つつけて豆まめまき

節せつ分ぶんだ



4

葉

秋あきになり

葉はが落おちる木きは

落らく葉よう樹じゅ



1

起

さあ起おきろ

起き床しょうの時間じかんだ

もう七しち時じ



2

速

速はやい速そく度どで

車くるまが走はしる

高こう速そく道どう路ろ



3

面

鬼おにの面めん

つつけて豆まめまき

節せつ分ぶんだ



4

向

この方向

進めば

向こうの山に着く



5

緑

新緑の

緑の葉っぱ

きれいだな



6

感

感想文

感じたことを

書けばいい



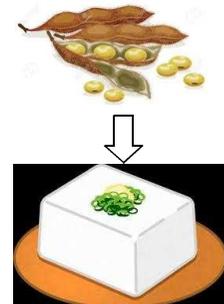
7

豆

お豆腐は

豆から

できているんだよ



8

向

この方向

進めば

向こうの山に着く



5

緑

新緑の

緑の葉っぱ

きれいだな



6

感

感想文

感じたことを

書けばいい



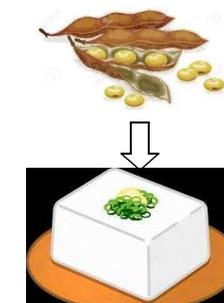
7

豆

お豆腐は

豆から

できているんだよ



8

練
 粉こなを練ねり
 うどん作づくりの
 練れん習しゅうだ
 12



仕
 王おうさま様さまに
 仕つかえる
 家来けらいの仕し事ごと
 11



様
 国くににより
 生せい活かつの
 様よう子すは様さま々さまだ
 10



物
 動どうぶつ物ぶつも
 植しょくぶつ物ぶつも皆みな
 生いき物ものだ
 9



練
 粉こなを練ねり
 うどん作づくりの
 練れん習しゅうだ
 12



仕
 王おうさま様さまに
 仕つかえる
 家来けらいの仕し事ごと
 11



様
 国くににより
 生せい活かつの
 様よう子すは様さま々さまだ
 10



物
 動どうぶつ物ぶつも
 植しょくぶつ物ぶつも皆みな
 生いき物ものだ
 9



習

木曜日

ぼくは習字を

習ってる



13

州

本州と

九州つなぐ

関門トンネル



14

央

ステージの

中央に立ち

歌う歌手



15

横

横断歩道

横で信号が

変わるのを待つ



16

習

木曜日

ぼくは習字を

習ってる



13

州

本州と

九州つなぐ

関門トンネル



14

央

ステージの

中央に立ち

歌う歌手



15

横

横断歩道

横で信号が

変わるのを待つ



16

倍

倍率ばいりつが

五百倍いっひゃくごばいの

顕微鏡けんびきょう

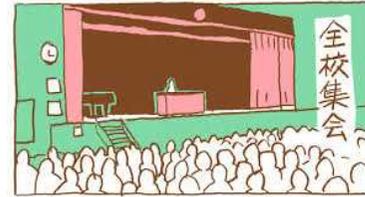


17

館

体育館たいいくかん みんな

集まりあつ 全校集会ぜんこうしゅうかい



18

事

大事な事だいじなこと

よく考かんがえて

決きめましょう



19

号

号令ごうれいを

かけて整列せいれつ

運動会うんどうかい



20

倍

倍率ばいりつが

五百倍いっひゃくごばいの

顕微鏡けんびきょう

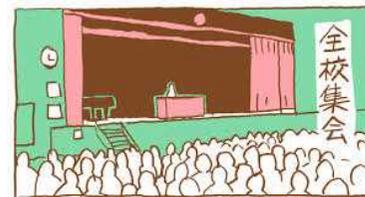


17

館

体育館たいいくかん みんな

集まりあつ 全校集会ぜんこうしゅうかい



18

事

大事な事だいじなこと

よく考かんがえて

決きめましょう



19

号

号令ごうれいを

かけて整列せいれつ

運動会うんどうかい



20

漢 かん という
 国 くに の 字 じ
 だから「漢字」だよ



24

味 あじ の こと
 舌 した で 感 かん じる
 味 み 覚 かく と は



23

意 い
 手 て を 挙 あ げて
 自 じ 分 ぶん の 意 い 見 けん を
 言 い い ま し ょ う



22

使 し 用 よう し た
 紙 かみ を 使 つか っ て
 リ サ イ ク ル



21

漢 かん という
 国 くに の 字 じ
 だから「漢字」だよ



24

味 あじ の こと
 舌 した で 感 かん じる
 味 み 覚 かく と は



23

意 い
 手 て を 挙 あ げて
 自 じ 分 ぶん の 意 い 見 けん を
 言 い い ま し ょ う



22

使 し 用 よう し た
 紙 かみ を 使 つか っ て
 リ サ イ ク ル



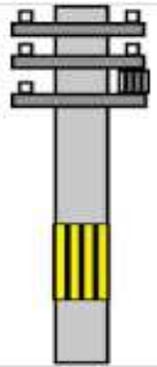
21

所
この住所
友達
住んでいる所



28

柱
円柱の
形をしている
電信柱



27

調
調査して
調べたことを
記録する



26

表
一年の
気温の変化を
表に表す



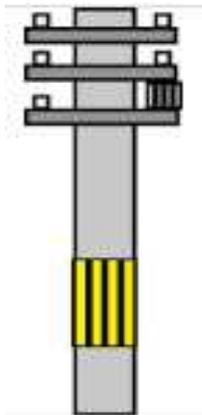
25

所
この住所
友達
住んでいる所



28

柱
円柱の
形をしている
電信柱



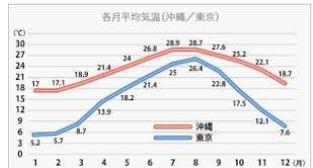
27

調
調査して
調べたことを
記録する



26

表
一年の
気温の変化を
表に表す



25

取

メモを

取りながら

取材する



29

局

薬局で

薬を買い

郵便局で

切手を買った



30

配

新聞を

配って回る

新聞配達



31

住

集合住宅に

家族五人で住む



32

取

メモを

取りながら

取材する



29

局

薬局で

薬を買い

郵便局で

切手を買った



30

配

新聞を

配って回る

新聞配達



31

住

集合住宅に

家族五人で住む



32

身

全身ぜんしんが

筋肉きんにく痛つうで

身動みうごきできず



33

育

体育たいいくは

体からだを育そだてる

時間じかんだよ



34

守

守備しゅびに付つく

守まもりの要かなめは

キャッチャーだ



35

決

対決たいけつし

どちらが強つよいか

決きめようぜ



36

身

全身ぜんしんが

筋肉きんにく痛つうで

身動みうごきできず



33

育

体育たいいくは

体からだを育そだてる

時間じかんだよ



34

守

守備しゅびに付つく

守まもりの要かなめは

キャッチャーだ



35

決

対決たいけつし

どちらが強つよいか

決きめようぜ



36

動

のっそりと

動く動物

ナマケモノ



37

持

「持つ」と「待つ」

しつかり見ないと

間違える



38

問

難問だ

先生に問い

やっと分かった



39

題

算数の

問題解けた

うれしいな



40

動

のっそりと

動く動物

ナマケモノ



37

持

「持つ」と「待つ」

しつかり見ないと

間違える



38

問

難問だ

先生に問い

やっと分かった



39

題

算数の

問題解けた

うれしいな



40

氷こおりのかたまり
海うみにうかんだ
「氷山ひょうざん」は



44

都みやこがあった
京きょう都とに
昔むかしは



43

筆ふで箱ばこの
鉛筆えんぴつけずって
さあ勉強べんきょう



42

部へ屋やのいちぶが
雨漏りあまもしてる
台風たいふうで



41

氷こおりのかたまり
海うみにうかんだ
「氷山ひょうざん」は



44

都みやこがあった
京きょう都とに
昔むかしは



43

筆ふで箱ばこの
鉛筆えんぴつけずって
さあ勉強べんきょう



42

部へ屋やのいちぶが
雨漏りあまもしてる
台風たいふうで



41

泳

水泳で

得意な泳ぎは

平泳ぎ



45

有

有料の

入場料が

無料になった

有り難い



46

返

「返金」は

借りたお金を

返すこと



47

遊

友達と

遊具で遊んだ

昼休み



48

泳

水泳で

得意な泳ぎは

平泳ぎ



45

有

有料の

入場料が

無料になった

有り難い



46

返

「返金」は

借りたお金を

返すこと



47

遊

友達と

遊具で遊んだ

昼休み



48

係 **係** その仕事
 ぼくらの係も
 関係するね

52



始 **始** さあ開始
 決勝戦の
 始まりだ

51



全 **全** 全力を
 尽くしたけれど
 全く歯が立たず

50



開 **開** 開花とは
 花のつぼみが
 開くこと

49



係 **係** その仕事
 ぼくらの係も
 関係するね

52



始 **始** さあ開始
 決勝戦の
 始まりだ

51



全 **全** 全力を
 尽くしたけれど
 全く歯が立たず

50



開 **開** 開花とは
 花のつぼみが
 開くこと

49



族
 年ねん末まつだ
 家か族ぞくみみんんななで
 大おお掃そう除じ
 56



苦
 苦くいい薬くすりを
 苦く勞ろうして飲のむ
 ああ苦くるしい
 55



終
 終しゅう了りょうの
 笛ふえが鳴なったよ
 もう終おわり
 54



世
 世よの中なかの
 ことことをを知しららなない
 世せ間けん知しららず
 53



族
 年ねん末まつだ
 家か族ぞくみみんんななで
 大おお掃そう除じ
 56



苦
 苦くいい薬くすりを
 苦く勞ろうして飲のむ
 ああ苦くるしい
 55



終
 終りょう了りょうの
 笛ふえが鳴なったよ
 もう終おわり
 54



世
 世よの中なかの
 ことことをを知しららなない
 世せ間けん知しららず
 53



品 ^{ひん}質 ^{しつ}の
 良 ^よい品物 ^{しなせもの}が
 揃 ^{そろ}ったお店 ^{みせ}

60



板 ^{いた}でした
 昔 ^{むかし}は黒 ^{くろ}い
 黒板 ^{こくばん}は

59



曲 ^まがり
 曲線 ^{まげくせん}とは
 くねった線 ^{せん}のこと

58



章 ^{ぶんしょう}を
 文章 ^{ぶんしょう}を
 書 ^かくのは
 ぼくの得意 ^{とくい}技 ^{わざ}だ

57



品 ^{ひん}質 ^{しつ}の
 良 ^よい品物 ^{しなせもの}が
 揃 ^{そろ}ったお店 ^{みせ}

60



板 ^{いた}でした
 昔 ^{むかし}は黒 ^{くろ}い
 黒板 ^{こくばん}は

59



曲 ^まがり
 曲線 ^{まげくせん}とは
 くねった線 ^{せん}のこと

58



章 ^{ぶんしょう}を
 文章 ^{ぶんしょう}を
 書 ^かくのは
 ぼくの得意 ^{とくい}技 ^{わざ}だ

57



皿

夕食の

用意だ

お皿を並べてね



61

委

委員会

放送委員に

なりました



62

員

入り口に

係員が立っている



63

発

さあ出発

発車オーライ

遠足だ



64

皿

夕食の

用意だ

お皿を並べてね



61

委

委員会

放送委員に

なりました



62

員

入り口に

係員が立っている



63

発

さあ出発

発車オーライ

遠足だ



64

島

無人島

島に住む人

一人もいない



65

寒

ああ寒い

強い寒波が

やってきた



66

相

困ったな

相談できる

相手がいない



67

死

愛犬が

死んだ

悲しくて泣いた



68

島

無人島

島に住む人

一人もいない



65

寒

ああ寒い

強い寒波が

やってきた



66

相

困ったな

相談できる

相手がいない



67

死

愛犬が

死んだ

悲しくて泣いた



68

君

太郎君

君の好きな

食べ物なあに



69

安

安らかな

寝顔を見て

安心する



70

急

あつ事故だ

急いで呼ぼう

救急車



71

橋

歩道橋

道路にかかる

横断用の橋



72

君

太郎君

君の好きな

食べ物なあに



69

安

安らかな

寝顔を見て

安心する



70

急

あつ事故だ

急いで呼ぼう

救急車



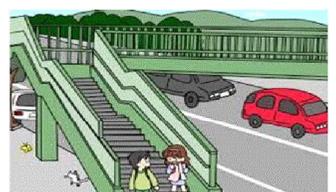
71

橋

歩道橋

道路にかかる

横断用の橋



72

登

エベレスト

八十歳で

登った登山家



73

血

転んで

足の血管が切れ

血が出た



74

申

夏のキャンプ

参加したくて

申し込んだ



75

由

遅刻した

理由は

夜更かし

朝寝坊



76

登

エベレスト

八十歳で

登った登山家



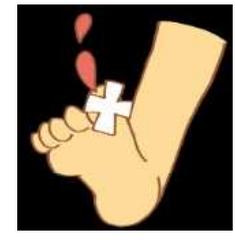
73

血

転んで

足の血管が切れ

血が出た



74

申

夏のキャンプに

参加したくて

申し込んだ



75

由

遅刻した

理由は

夜更かし

朝寝坊



76

想

未来の世界を

空想する



77

詩

感じたこと

言葉短く

書くのが詩



78

集

体育館に

全校集まり

音楽集会



79

次

次は何?

それは次回の

お楽しみ



80

想

未来の世界を

空想する



77

詩

感じたこと

言葉短く

書くのが詩



78

集

体育館に

全校集まり

音楽集会



79

次

次は何?

それは次回の

お楽しみ



80

暑

暑い夏

暑中お見舞い

申し上げます



81

業

農業・工業



水産業「業」は

仕事という意味です

82

実

柿の実を

こっそり食べたの

実はぼく



83

農

米・野菜

作る仕事は農業だ



84

暑

暑い夏

暑中お見舞い

申し上げます



81

業

農業・工業



水産業「業」は

仕事という意味です

82

実

柿の実を

こっそり食べたの

実はぼく



83

農

米・野菜

作る仕事は農業だ



84

命

命がけて
使命を果たす



85

写

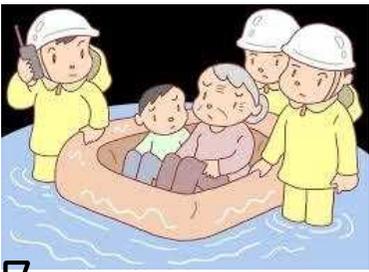
スマホで
写した花の
写真だよ



86

助

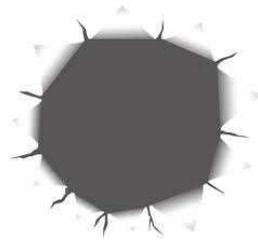
災害で
人を助ける
救助隊



87

落

岩が落下
落ちたところに
穴が開く



88

命

命がけて
使命を果たす



85

写

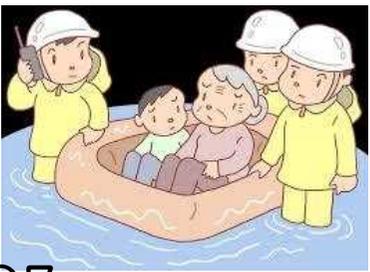
スマホで
写した花の
写真だよ



86

助

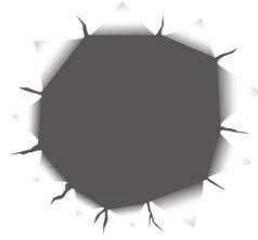
災害で
人を助ける
救助隊



87

落

岩が落下
落ちたところに
穴が開く



88

進

にぎやかに

進む

音楽隊の行進



89

役

当番の

役割きちんと

果たしましょう



90

負

将棋の対局

今日の勝負は

負けました



91

勝

この勝負

どっちが

勝つのか負けるのか



92

進

にぎやかに

進む

音楽隊の行進



89

役

当番の

役割きちんと

果たしましょう



90

負

将棋の対局

今日の勝負は

負けました



91

勝

この勝負

どっちが

勝つのか負けるのか



92

「大根」だ
 大きくて
 太い根だから
根



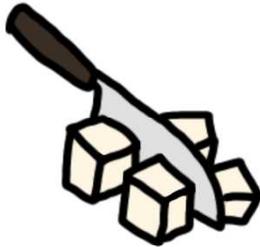
96

屋上から
 向こうの家の
 屋根が見える
屋



95

お豆腐一丁
 丁寧に切る
丁



94

善悪の
 区別は
 しっかりつけようね
区



93

「大根」だ
 大きくて
 太い根だから
根



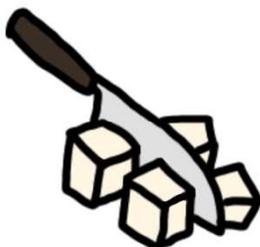
96

屋上から
 向こうの家の
 屋根が見える
屋



95

お豆腐一丁
 丁寧に切る
丁



94

善悪の
 区別は
 しっかりつけようね
区



93

童 わらわべうた
童歌

みんなで歌った

児童集会 じどうしゅうかい



100

打 さい
最後の打者が だいが

ヒットを打って

試合に勝った しあいにかつた



99

球 な
投げた球 たま

バットで打つのが

野球です やきゅうです



98

投 ごう
剛速球 ごうそくきゅう

続けて投げる

プロの投手 ぷろのとうしゅ



97

童 わらわべうた
童歌

みんなで歌った

児童集会 じどうしゅうかい



100

打 さい
最後の打者が だいが

ヒットを打って

試合に勝った しあいにかつた



99

球 な
投げた球 たま

バットで打つのが

野球です やきゅうです



98

投 ごう
剛速球 ごうそくきゅう

続けて投げる

プロの投手 ぷろのとうしゅ



97

主

食事の時

主に食べるものが

「主食」だ



101

化

子どもに化けて

文化祭に

行くキツネ



102

鉄

鉄道の

線路は

鉄でできている



103

真

真実と

思っていたら

真っ赤な嘘



104

主

食事の時

主に食べるものが

「主食」です



101

化

子どもに化けて

文化祭に

行くキツネ



102

鉄

鉄道の

線路は

鉄でできている



103

真

真実と

思っていたら

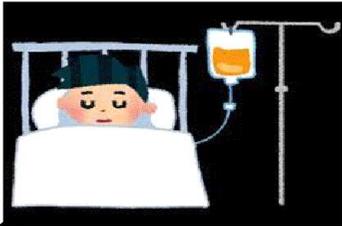
真っ赤な嘘



104

院 **院**

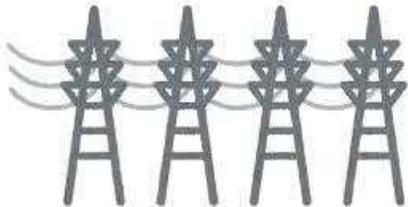
けがをして
病院に
入院しています



108

送 **送**

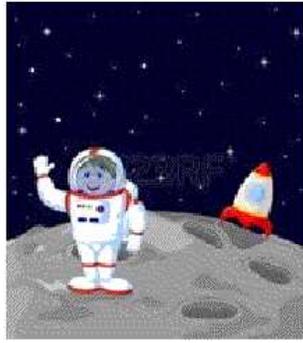
電気を
送る
送電線



107

着 **着**

宇宙服
着て
月面に着陸だ



106

客 **客**

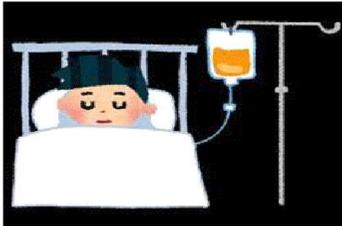
旅客機に
観光客が
乗り込んだ



105

院 **院**

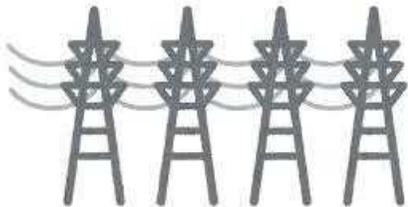
けがをして
病院に
入院しています



108

送 **送**

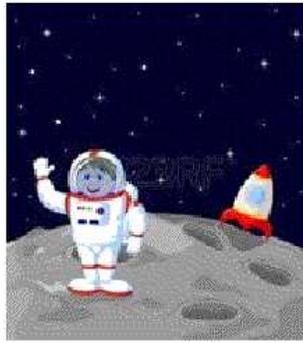
電気を
送る
送電線



107

着 **着**

宇宙服
着て
月面に着陸だ



106

客 **客**

旅客機に
観光客が
乗り込んだ



105

荷 入 荷 した

運 び 込 込 ぶ

荷 物 を 倉 庫 に

112



消 火 を 消 す 車 が

消 防 車

111



受 病 院 で

受 診 して

薬 を 受 け 取 る

110



皮 体 の 表 面 を

覆 う 皮 を

皮 膚 と い う

109



荷 入 荷 した

運 び 込 込 ぶ

荷 物 を 倉 庫 に

112



消 火 を 消 す 車 が

消 防 車

111



受 病 院 で

受 診 して

薬 を 受 け 取 る

110



皮 体 の 表 面 を

覆 う 皮 を

皮 膚 と い う

109



昔話 むかしばなし 昔から むかし 伝わる話 つたはなし が

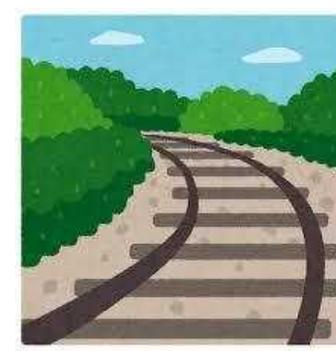
昔



116

どこまでも 続くよ つづ 線路 せんろ は

路



115

まぶしい陽光 まぶしいようこう 海 うみ から昇 のぼ る 太陽 たいよう が

陽



114

運びます はこ 車 くるま で荷物 にもの を 運転手 うんてんしゅ

運



113

昔話 むかしばなし 昔から むかし 伝わる話 つたはなし が

昔



116

どこまでも 続くよ つづ 線路 せんろ は

路



115

まぶしい陽光 まぶしいようこう 海 うみ から昇 のぼ る 太陽 たいよう が

陽



114

運びます はこ 車 くるま で荷物 にもの を 運転手 うんてんしゅ

運



113

具
 明日は遠足
 雨具の用意も
 忘れずに



120

軽
 転んでも
 身が軽いから
 軽傷だ



119

両
 両手・両足
 ニつでセットが
 「両」の意味



118

服
 よそ行きの
 服に着替えて
 お出かけよ



117

具
 明日は遠足
 雨具の用意も
 忘れずに



120

軽
 転んでも
 身が軽いから
 軽傷だ



119

両
 両手・両足
 ニつでセットが
 「両」の意味



118

服
 よそ行きの
 服に着替えて
 お出かけよ



117

研 包丁の
研ぎ方を
研究する



128

植 植林は
山に木を植えること



127

指 指揮をする
人の指先
よく見て歌う



126

整 整理して
机の上が
整った



125

研 包丁の
研ぎ方を
研究する



128

植 植林は
山に木を植えること



127

指 指揮をする
人の指先
よく見て歌う



126

整 整理して
机の上が
整った



125

究

夏休みの
自由研究
何をしようか



129

者

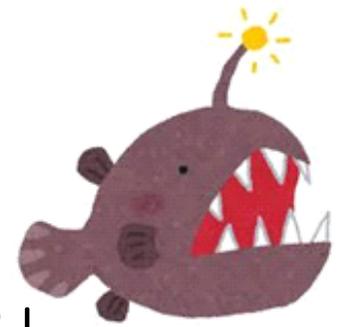
勝者
負けた者は
敗者
勝った者が



130

深

深い海の
底にいる
深海魚



131

代

品物を
買った代わり
に払う「代金」



132

究

夏休みの
自由研究
何をしようか



129

者

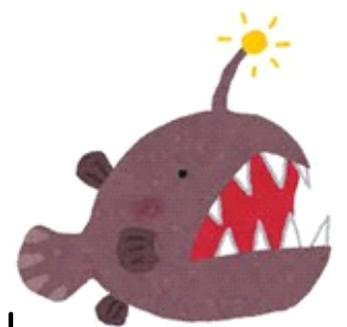
勝者
負けた者は
敗者
勝った者が



130

深

深い海の
底にいる
深海魚



131

代

品物を
買った代わり
に払う「代金」



132

乗

乗車券 じやうしやけん

買って電車に か ぶい だんしや

乗りました のり



133

飲

コーラや

ジュース

清涼飲料水は せいりやういんりやうすい

飲み過ぎに注意 のり すい ちゆうい



134

流

台風で たいふう

流木が りゅうぼく

流れ着いた なが



135

炭

炭火で すみび

焼き肉 やきにく

炭酸ジュースも たんさん

飲みました のり



136

乗

乗車券 けん

買って電車に

乗りました



133

飲

コーラや

ジュース

清涼飲料水は せいりやういんりやうすい

飲み過ぎに注意 のり すい ちゆうい



134

流

台風で

流木が

流れ着いた



135

炭

炭火で

焼き肉

炭酸ジュースも

飲みました



136

鼻 **鼻** 水が

止まらず

耳鼻科へ行った



140

銀 **銀** でできた

お金が銀貨



139

和 **和** 美しく

平和な日本

心も和む

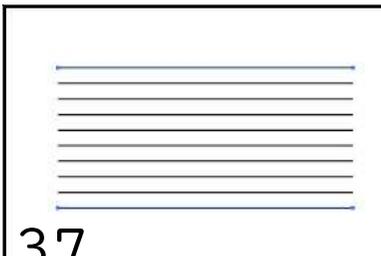


138

平 **平** らな紙に

平行線を

書く



137

鼻 **鼻** 水が

止まらず

耳鼻科へ行った



140

銀 **銀** でできた

お金が銀貨



139

和 **和** 美しく

平和な日本

心も和む

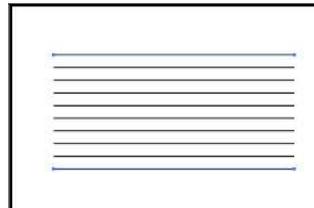


138

平 **平** らな紙に

平行線を

書く



137

診^みてもらう
お医^い者^{しや}さんに
風^か邪^ぜをひき

医



144

永^{えい}久^{きゆう}歯^し
虫^{むし}歯^ばになつた
歯^は医^い者^{しや}に行^いこう

歯



143

祭^{まつり}
春^{はる}の祭^{まつり}礼^{れい}
みこしを担^{かつ}いで
楽^{たの}しいお祭^{まつ}り

祭



142

神^{かみ}様^{さま}の話^{はなし}を
神^{しん}話^わという
大^{おお}昔^{むかし}の

神



141

診^みてもらう
お医^い者^{しや}さんに
風^か邪^ぜをひき

医



144

永^{えい}久^{きゆう}歯^し
虫^{むし}歯^ばになつた
歯^は医^い者^{しや}に行^いこう

歯



143

祭^{まつり}
春^{はる}の祭^{まつり}礼^{れい}
みこしを担^{かつ}いで
楽^{たの}しいお祭^{まつ}り

祭



142

神^{かみ}様^{さま}の話^{はなし}を
神^{しん}話^わという
大^{おお}昔^{むかし}の

神



141

湯

熱湯を
冷ましてちょうど
良い湯加減



148

箱

プレゼント
箱の中身は
何だろう



147

薬

薬局で
風邪の薬を
買いました



146

坂

坂道は
登坂車線を
行くダンプ



145

湯

熱湯を
冷ましてちょうど
良い湯加減



148

箱

プレゼント
箱の中身は
何だろう



147

薬

薬局で
風邪の薬を
買いました



146

坂

坂道は
登坂車線を
行くダンプ



145

湖 こ 琵琶 びわ 湖 こ

日本 にほん で 一番 いちばん

大きい おおき 湖 こ は



152

洋 よう

太平洋 たいへいよう を

ヨット よつと で

横断 おうだん



151

対 たい

三対三 さんたいさん で

試合 しあひ は

引き分け ひきわけ

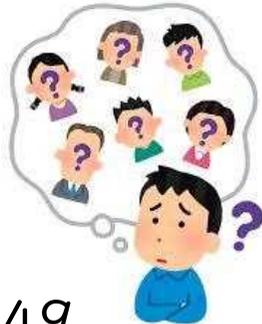


150

他 ほか の 町 まち

行 い けば

知らない しらない 他人 たにん ばかり



149

湖 こ 琵琶 びわ 湖 こ

日本 にほん で 一番 いちばん

大きい おおき 湖 こ は



152

洋 よう

太平洋 たいへいよう を

ヨット よつと で

横断 おうだん



151

対 たい

三対三 さんたいさん で

試合 しあひ は

引き分け ひきわけ



150

他 ほか の 町 まち に

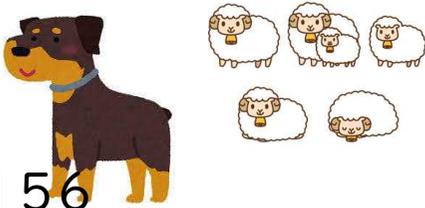
行 い けば

知らない しらない 他人 たにん ばかり



149

羊
 ひつじの群れ
 まもっているのが
 ぼく
 ようけん
 牧羊犬
 156



拾
 おとし物
 ひろって届けた
 こうばんへ
 155



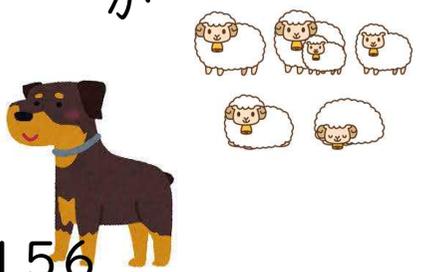
油
 ガソリンは
 せきゆから作った
 あぶら
 油です
 154



酒
 にほんしゅ
 日本酒は
 こめから造る
 さけ
 お酒です
 153



羊
 ひつじの群れを
 まもっているのが
 ぼく
 ようけん
 牧羊犬
 156



拾
 おとし物
 ひろって届けた
 こうばんへ
 155



油
 ガソリンは
 せきゆから作った
 あぶら
 油です
 154



酒
 にほんしゅ
 日本酒は
 こめから造る
 さけ
 お酒です
 153



学^が期^きで^す
 一^{いち}番^{ばん}長^{なが}い
 二^に学^が期^きは

期

さあ!
2学期!

160

心^{こころ}に^{きょうがい}境^{かい}界^{かい}は^な無^ない
 み^{みな}な^{なか}仲^な間^ま
 世^せ界^{かい}の^{ひと}人^{びと}々

界

159

着^つく^{みなと}港^と
 外^{がい}国^{こく}船^{せん}が
 神^{こう}戸^べ港^{こう}

港

158

新^{しん}幹^{かん}線^{せん}に^の乗^のっ^たた
 新^{しん}大^{おお}阪^{さか}駅^{えき}ま^でで
 東^{とう}京^{きょう}駅^{えき}か^らら

駅

157

学^が期^きで^す
 一^{いち}番^{ばん}長^{なが}い
 二^に学^が期^きは

期

さあ!
2学期!

160

心^{こころ}に^{きょうがい}境^{かい}界^{かい}は^な無^ない
 み^{みな}な^{なか}仲^な間^ま
 世^せ界^{かい}の^{ひと}人^{びと}々

界

159

着^つく^{みなと}港^と
 外^{がい}国^{こく}船^{せん}が
 神^{こう}戸^べ港^{こう}

港

158

新^{しん}幹^{かん}線^{せん}に^の乗^のっ^たた
 新^{しん}大^{おお}阪^{さか}駅^{えき}ま^でで
 東^{とう}京^{きょう}駅^{えき}か^らら

駅

157

列

行^{ぎょう}列^{れつ}が^がで^でき^きる

人^{にん}気^きの

ラ^らー^ーメ^メン^ン店^{てん}



164

式

式^{しき}場^{じょう}の

飾^{かざ}り^りを^を作^{つく}っ^って

入^{にゅう}学^{がく}式^{しき}準^{じゆん}備^び



163

級

君^{きみ}と^とぼ^ぼく

同^{おな}じ^が学^{がく}級^{きゅう}

同^{どう}級^{きゅう}生^{せい}だ



162

勉

勉^{べん}強^{きやう}が

分^わか^かっ^って^てき^きた^たぞ

も^もっ^っと^と勉^{べん}強^{きやう}す^する^るぞ



161

列

行^{ぎょう}列^{れつ}が^がで^でき^きる

人^{にん}気^きの

ラ^らー^ーメ^メン^ン店^{てん}



164

式

式^{しき}場^{じょう}の

飾^{かざ}り^りを^を作^{つく}っ^って

入^{にゅう}学^{がく}式^{しき}準^{じゆん}備^び



163

級

君^{きみ}と^とぼ^ぼく

同^{おな}じ^が学^{がく}級^{きゅう}

同^{どう}級^{きゅう}生^{せい}だ



162

勉

勉^{べん}強^{きやう}が

分^わか^かっ^って^てき^きた^たぞ

も^もっ^っと^と勉^{べん}強^{きやう}す^する^るぞ



161

注 熱湯ねっとうを注そそぐ時ときには やけどやけどに注意ちゅうい



168

反 反対はんたいばかり 反省はんせいする してしていたことを



167

談 相談室そうだんしつ 先生せんせいと 面談めんだんする母はは



166

予 天気予報てんきよほうでは 明日あすは 晴はれ



165

注 熱湯ねっとうを注そそぐ時ときには やけどやけどに注意ちゅうい



168

反 反対はんたいばかり 反省はんせいする してしていたことを



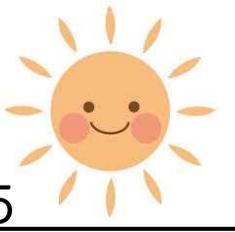
167

談 相談室そうだんしつ 先生せんせいと 面談めんだんする母はは



166

予 天気予報てんきよほうでは 明日あすは 晴はれ



165

岸 **岸**
波が岸辺に
打ち寄せて
岸壁を離れる船



172

県 **県**
滋賀県で
有名なものといえば
琵琶湖だ



171

悪 **悪**
悪口を
言われて気分は
最悪だ



170

暗 **暗**
月も無く
真つ暗闇の
暗夜です



169

岸 **岸**
波が岸辺に
打ち寄せて
岸壁を離れる船



172

県 **県**
滋賀県で
有名なものといえば
琵琶湖だ



171

悪 **悪**
悪口を
言われて気分は
最悪だ



170

暗 **暗**
月も無く
真つ暗闇の
暗夜です



169

商 あきな 商 しょう 色 いろ 々 いろ な いろ 商 しょう 品 ひん 商 あきな う 商 しょう 店 てん 街 がい

176



悲 かな しい かな 悲 ひ 劇 げき の 物 もの 語 がたり 悲 かな しい かな 悲 ひ 劇 げき の 物 もの 語 がたり ロ ろ ミ み オ お と ジ じ ユ ゆ リ り エ え ッ っ ト

175



幸 こう 運 うん が 幸 こう 運 うん が 続 つづ いて 幸 しあ せ 幸 こう 運 うん が 続 つづ いて 幸 しあ せ う う れ れ しい しい な

174



放 ほう 置 ち し し ない ない こ こ と 放 はな し 飼 か い 犬 いぬ を 放 はな し 飼 か い 犬 いぬ を 飼 か い 犬 いぬ を 放 ほう 置 ち し し ない ない こ こ と

173



商 あきな う 商 しょう 品 ひん を 色 いろ 々 いろ な 商 あきな う 商 しょう 店 てん 街 がい

176



悲 かな しい かな 悲 ひ 劇 げき の 物 もの 語 がたり 悲 かな しい かな 悲 ひ 劇 げき の 物 もの 語 がたり ロ ろ ミ み オ お と ジ じ ユ ゆ リ り エ え ッ っ ト

175



幸 こう 運 うん が 幸 こう 運 うん が 続 つづ いて 幸 しあ せ 幸 こう 運 うん が 続 つづ いて 幸 しあ せ う う れ れ しい しい な

174



放 ほう 置 ち し し ない ない こ こ と 放 はな し 飼 か い 犬 いぬ を 放 はな し 飼 か い 犬 いぬ を 飼 か い 犬 いぬ を 放 ほう 置 ち し し ない ない こ こ と

173



転

雪道ゆきみちで
滑すべって転ころんだ
これを転倒てんとうという



180

庫

金庫きんこ・車庫しゃこ・倉庫そうこ



「庫」は物ものを入いれる建物たてものや場所ばしょ

179

帳

日記帳にっきちよう メモ帳ちよう
手帳てちよう

ノートノートの形かたちを
したものが「帳ちよう」



178

昭

昭和しやうわ 平成へいせい

その次つぎ
令和れいわ



177

転

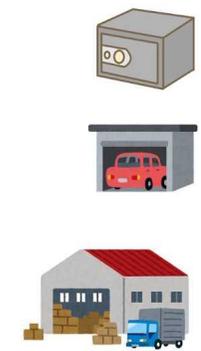
雪道ゆきみちで
滑すべって転ころんだ
これを転倒てんとうという



180

庫

金庫きんこ・車庫しゃこ・倉庫そうこ



「庫」は物ものを入いれる建物たてや場所ばしょ

179

帳

日記帳にっきちよう メモ帳ちよう
手帳てちよう

ノートノートの形かたちを
したものが「帳ちよう」



178

昭

昭和しやうわ 平成へいせい

その次つぎは
令和れいわ



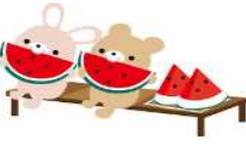
177

定
ねらい定め
安定した動作で
弓を射る



184

等
等しい大きさに
分けることを
「等分する」という



183

福
福は内
鬼は外
笑う門には福来たる



182

第
何を
するにも
安全第一



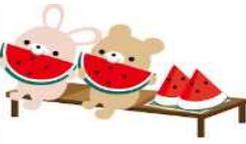
181

定
ねらい定め
安定した動作で
弓を射る



184

等
等しい大きさに
分けることを
「等分する」という



183

福
福は内
鬼は外
笑う門には福来たる



182

第
何を
するにも
安全第一



181

宮

七五三
しちごさん

宮参りで行く
みやまいで行く

平安神宮
へいあんじんぐう



185

宿

宿屋には
やどやには

宿泊客が
しゆくはくきやくが

いっぱいだ



186

追

犯人の
はんにん

後を追う
あとをおう

追跡する
ついせきする



187

庭

昼休みは
ひるやすみは

校庭や中庭で
こうていやなかになで

遊んでいます
あそんでいます



188

宮

七五三

宮参りで行く

平安神宮



185

宿

宿屋には

宿泊客が

いっぱいだ



186

追

犯人の

後を追う

追跡する



187

庭

昼休みは

校庭や中庭で

遊んでいます



188

重 おもい岩 いわ
 三 みつつ重 かさねて
 重 じゅうりょう量 よう一 いっトン
 192



階 かい段 だんを
 上 のぼって二階 にかいの
 教 きょう室 しつへ
 191



息 いき苦 くるしくて
 満 まん員 いん電 でん車 しゃ
 窒 ちっ息 そくしそ うだ
 190



旅 たびに出 いでて
 大 おおきな旅 りょ館 かんに
 泊 とまったよ
 189



重 おもい岩 いわ
 三 みつつ重 かさねて
 重 じゅうりょう量 よう一 いっトン
 192



階 かい段 だんを
 上 のぼって二階 にかいの
 教 きょう室 しつへ
 191



息 いき苦 くるしくて
 満 まん員 いん電 でん車 しゃ
 窒 ちっ息 そくしそ うだ
 190



旅 たびに出 いでて
 大 おおきな旅 りょ館 かんに
 泊 とまったよ
 189



畑

畑掘り

野菜を植える

おじいさん



193

去

過ぎ去った

去年のことを

思い出す



194

礼

もらったら

礼状を出すのが

礼儀だよ



195

待

パーティーの

招待状

その日が待ち遠しい



196

畑

畑掘り

野菜を植える

おじいさん



193

去

過ぎ去った

去年のことを

思い出す



194

礼

もらったら

礼状を出すのが

礼儀だよ



195

待

パーティーの

招待状

その日が待ち遠しい



196

秒

百メートル走で

十秒を切り

日本新記録



197

病

「病は気から」

元気に過ごして

病気知らずだ



198

笛

笛 太鼓

鳴らして

進む鼓笛隊



199

波

波が来て

波止場の船が

揺れている



200

秒

百メートル走で

十秒を切り

日本新記録



197

病

「病は気から」

元気に過ごして

病気知らずだ



198

笛

笛 太鼓

鳴らして

進む鼓笛隊



199

波

波が来て

波止場の船が

揺れている



200